

教育目標

めあてをもち 自分で考え ねばり強くやり抜こう

目指す学校像

- ・学ぶ、つながる、挑戦する楽しさや喜び、心や体の成長が実感できる学校
- ・保護者や地域から信頼、応援され、地域とともに歩む学校
- ・教師が情熱と使命感をもち、やりがいを感じて教育活動を進める学校
- ・教育環境が整い、安全・安心に生活できる学校

目指す生徒像

- ・生徒自ら学びのめあてを理解し、主体的に考え、課題にねばり強く取り組み、振り返りを通して、次の行動を決める生徒
- ・自分を律し、あいさつ、返事を大切に、時間を守り、最後まで責任をもってやり遂げる生徒
- ・他者を思いやり、いじめを許さず・見逃さない判断と行動ができる生徒
- ・健康管理に努め、安全な生活を心掛け、体力向上に主体的に取り組む生徒
- ・ふるさと荒川を理解し、地域の課題を自ら発見し、仲間と協働して追究する生徒

いじめの防止等

- 【 取組 】
- ① いじめ見逃しゼロスクール集会、道徳の授業等を通して、いじめの行為はどんな理由があっても絶対にしてはならないこと認識させ、全校体制でいじめをしない、させない、見逃さない気運を高める。
 - ② 教則員は常に傾聴の姿勢をもって生徒と接し、生徒の心に寄り添った支援に努める。

- 【 評価 】
- ① 生徒アンケートで「いじめはどんな理由があってもしてはいけない」という問いに「そう思う」と回答する生徒を90%以上にする。
 - ② 生徒アンケートで「困ったときに、相談できる先生がいる」と回答する生徒を80%以上にする。

働き方改革

- 【 取組 】
- ① スクールサポートスタッフを効果的に活用する。
 - ② 学校の諸活動や会議等における教職員の負担軽減に資する見直しを図り、適宜、改善する。
 - ③ スピーディーな報告・連絡・相談、共通理解に基づく組織的な対応を行うことで、諸問題、トラブル等の未然防止、深刻化の防止に努める。

- 【 評価 】
- ① 年間を平均した時間外在校等時間1か月平均45時間以内の達成率を全教職員の65%以上にする。

努力事項

知の分野

【 取組 】

- ① 学習課題、対話、まとめ、振り返りがある授業を行う。
- ② 思考、解決、表現の過程で「深い学びの技法」を取り入れた授業を、単元の中に位置づけて行う。
- ③ 日々の授業で、学習内容の定着を図るための宿題を課す。また、授業で宿題の10～20%程度に取り組ませて、残りを宿題にする。（質の高い家庭学習の定着と苦手な生徒でも取り組みやすくなる工夫）
- ④ 「分かる」「できる」が実感できる問いや学習課題がある授業を行う。

【 評価 】

- ① 生徒アンケートで、授業の学習課題が「分かる」「できる」と答える生徒を85%以上にする。
- ② 生徒アンケートで、「話し合うことで自分の考えがより確かになったり、新しい学びや気づきがあったりした」と答える生徒を80%以上にする。

徳の分野

【 取組 】

- ① 生徒の絆づくりの場面（主体的・共同的な活動を通して、生徒自らが「絆」を感じ取り、心を通わせる場面）を設定する。
- ② 学級活動・生徒会活動・学校行事で、互いの努力や成長を賞賛し合う場面を設定する。
- ③ いじめに関する道徳教育（道徳科、いじめ見逃しゼロの取組等）は、「考え、議論する」積極的な取組を行う。
- ④ 心の居場所（生徒が安心できる、自己存在感や充実感を感じられる場所）づくりに努める。

【 評価 】

- ① 生徒アンケートで、「学校が楽しい、充実している」の肯定的評価を75%以上にする。
- ② 生徒アンケートで、「相手のことを考えた言葉遣いや行動をしている（SNSを含む）」の肯定的評価を85%以上にする。

体の分野

【 取組 】

- ① 体育の授業や体育的行事において、体力向上に関する知識を理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- ② 体育の授業で、体力づくりを図る、サーキットトレーニング・準備運動等を継続して行う。
- ③ セルフモニタリングシートを活用し、生活習慣の改善に取り組む。

【 評価 】

- ① 生徒アンケートで、各学年の体力向上・保持増進に向けた運動を行う生徒を、80%以上にする。
- ② 生活習慣の改善に関する肯定的評価を、75%以上にする。

特別支援教育

【 取組 】

- ① 一人一人の教育的ニーズに応じた、足並みをそろえた適切な支援を行う。
- ② 学びのユニバーサルデザイン（UDL）の理解を一層深め、取組を徹底する。
- ③ 保護者・関係機関との連携を積極的に行う。

【 評価 】

- ① 個別支援計画をもとに、①現状把握②目標設定③実践④評価のサイクルで支援する教職員を100%にする。
- ② UDLの取組を理解し、実践している教職員を100%にする。

非認知能力

自己肯定感

を高める教育的な価値付け

【 中核に据える3つの非認知能力（行動） 】

- ① 人間関係を築く行動
- ② 先を考えて行動
- ③ 周りを考えて行動